

令和元年度

国分寺市障害者地域自立支援協議会

中間活動報告書

● 令和元年度 国分寺市障害者地域自立支援協議会 中間活動内容

開催日	日時	主な内容
令和元年 6 月 19 日 (水)	10 時～12 時	<p><議題></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 今年度の協議会のテーマとスケジュールについて 2 各専門部会の今年度の取組について 3 地域生活支援拠点等に必要な機能の充実・強化について <p><その他報告等></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 障害者計画等策定スケジュールについて 2 国分寺市障害者基幹相談支援センター事業について (平成 30 年度事業実績及び令和元年度事業計画の報告等) <p><情報提供等></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域福祉コーディネーターについて 2 市民福祉講座について
令和元年 10 月 28 日 (月)	10 時～12 時	<p><議題></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 各専門部会の今年度の取組状況について 2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議の場の設置について 3 地域生活支援拠点等に必要な機能の充実・強化について <p><報告等></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 平成 30 年度障害者計画等の実績報告について (障害者施策推進協議会での評価状況) 2 ニュースレターNo.5 の発行について

令和元年度 相談支援部会 中間活動報告書

令和元年度の主な取組内容

- ◆ 地域生活支援拠点等の充実に向けた地域資源調査。
- ◆ 意思決定支援及び日常的な契約・確認行為における署名代行等のガイドライン策定に向けた協議。
- ◆ 相談支援事業所間及び障害児通所支援事業所間の連携、情報共有等の横のつながりの強化。
- ◆ 福祉人材不足解消に向けた、地域の人材の掘り起こし。
- ◆ 大規模災害時における、避難所等での要支援者対応。

活動の状況

	日にち	内容	備考
第1回	5月31日	①平成30年度の取組の振り返り ＊緊急入所保護事業について ＊相談支援事業所連絡会について ＊こどもあんしんナビの活用状況について ②令和元年度の取組について協議 ＊地域生活支援拠点について ＊意思決定支援や契約行為について	
第2回	9月4日	・地域生活支援拠点等の充実に向けた地域資源調査について ・日常的な契約又は確認行為における署名代行等の実例報告や課題の整理について ・相談支援事業所連絡会の報告 ・障害児通所支援事業所連絡会の報告	
相談支援事業所連絡会	4月18日 5月16日 6月21日 7月18日 8月22日 9月19日 10月18日	①事例検討及び合同研修について ＊障害者+高齢者世帯など ②相談支援事業所間の連携・情報共有について ③意思決定支援や日常的な契約・確認行為についての現状確認 ④より理解しやすいサービス等利用計画作成に向けての意見交換・勉強会	
障害児通所支援事業所連絡会	7月19日	①各事業所における現況報告 ②障害児通所支援事業所と保育・教育との連携について ③児童発達支援等の無償化について ④リスクマネジメントについて	

成果・活動から見えてきたことなど

意思決定支援及び日常的な契約・確認行為における署名代行等について、部会内で現状を確認したところ、日常生活を支える中で支援者が署名の代筆や、捺印の代行をせざるを得ない場面が少なからず発生していることがわかった。支援者や支援機関は利用者の権利・利益を第一に考え、それら代行をしているものの、「不正な行為と捉えられないか?」「第三者性や客観性をどう担保すれば良いか?」などの不安や迷いを抱えている。

これらの支援については、まず当事者の意向をどのように確認するか、次に書類等手続き上の署名・捺印代行に関する判断基準、そしてそれらの第三者性をどのように担保し記録するかといった課題を整理する必要がある。法的な部分については専門家の助言を受けると共に、厚労省や東社協のガイドライン、行政や福祉・医療・教育機関等における事例等を調査し、コンセンサスを得ながらオリジナルのガイドライン案を作成したい。

福祉人材の不足については、市内の法人・事業所も例外ではなく、どこも人材確保に苦戦している。地域生活を支えるヘルパーはもちろん、GHの夜勤、通所事業所の支援員に至るまで全体的に不足しており、更には募集経費の増加や、派遣社員の導入等で法人の経営は圧迫されつつある。いかに市内に福祉サービスを提供する事業所ができたとしても、そこで働く「ヒト」がいなければ全く意味がなく、福祉人材の確保は最優先で取り組まなければならない重い地域課題である。

人材確保の成功事例を分析しながら、市内において現在は支援職から離れている有資格者や経験者の掘り起こしや、学生・主婦・定年退職者それぞれの層に対する訴求、支援周辺業務（調理・清掃・送迎車の運転や添乗など）や短時間勤務といった未経験者でも比較的チャレンジしやすい業務に絞った募集等を、市内法人が連携して取り組めるよう研究を進める。

今後の活動予定

	日にち	内容	備考
第3回	12月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援拠点等の充実に向けた地域資源調査の報告 ・日常的な契約又は確認行為における署名代行等に関する課題報告及び法的観点からの指摘について ・両事業所連絡会の取組状況 	
第4回	2月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援拠点等の充実に向けた地域資源の活用と連携について ・意思決定支援及び日常的な契約又は確認行為における署名代行等に関するガイドライン案について 	
相談支援事業所連絡会	11月21日 12月19日 1月16日 2月21日 3月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護にまつわる日常生活支援の課題抽出 ・意思決定支援や日常的な契約・確認行為におけるガイドライン作成 ・事例検討及び勉強会 ・他部会との効果的な連携について 	
障害児通所支援事業所連絡会	2月頃予定	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所間の連携・情報共有について ・障害者計画策定に向けた意見聴取 	

令和元年度 就労支援部会 中間活動報告書

令和元年度の主な取組内容

- ◆ 就労支援に関する地域の課題の掘り起こしと各課題解決のために必要な取り組みについて協議
- ◆ 就労支援関係機関による連携強化のための仕組みづくりについて協議
- ◆ 作業部会(農福連携に関する協議・国分寺障害者施設お仕事ネットワーク・(仮称)就労移行支援事業所連絡会)を設置し、取組内容等について部会で検討・協議。

活動の状況

	日にち	内容	備考
第1回	5月17日(金)	① 平成30年度の就労支援部会の活動報告 ② 農福連携に関する活動報告 ③ 今年度の就労支援部会での取組について協議 ＊3つの作業部会の設置について(農福連携に関する協議・国分寺障害者施設お仕事ネットワーク・(仮称)就労移行支援事業所連絡会) ＊障害者就労施設等の物品販売ポータルサイト開設について ＊地元企業との連携強化に向けた取組について ＊国分寺市広報番組「国分寺ぶんぶんチャンネル」によるお仕事ネットのPRについて ＊福祉サービスの枠にとらわれない障害者の働く職場」を作る取組について ＊相談支援専門員との連携について	
第2回	9月10日(火)	①各作業部会の取組状況について報告(農福連携に関する協議・国分寺障害者施設お仕事ネットワーク・就労移行支援事業所連絡会) ②今年度の就労支援部会での取組について報告・協議 ＊障害者就労施設等の物品販売ポータルサイト(仮)について ＊ニュースレターの記事について ＊「障害福祉サービスの枠にとらわれない障害者の働く職場」について ＊相談支援専門員との連携について	

成果・活動から見えてきたことなど

今年度より就労支援部会の活動を補完するために3つの作業部会を設置している。

会議の開催頻度は各作業部会ごとに異なるものの、それぞれの作業部会で就労支援部会から出された課題の協議や就労支援部会へ協議課題を提起するような流れが徐々に構築されつつある。

今後も障害福祉サービス事業者と行政関係者を中心に各作業部会を運営しつつ、話し合うテーマによっては就労関係者や学校関係者、商工関係者などの委員にも会議に参加してもらうような機会を持てると良いと感じている。

また、「障害福祉サービスの枠にとらわれない障害者の働く職場」についての意見交換を行うなかで、その意義や必要性は各委員が共有しているようではあるが、具体化するためのイメージを持つまでには、もう少し時間をかけて検討を重ねる必要があると感じている。

なお、相談支援専門員との連携についても部会の中で協議・意見交換を行ったが、相談支援専門員の現状や苦慮されている事などについて、もう少し理解を深める必要があると感じたので、相談支援部会の意見を聞きながら、どのような連携が必要なのか再度検討していきたい。

今後の活動予定

第3回	12月10日(火)	・今年度の取組(各作業部会・就労支援部会)についての報告・総括 ・次年度に向けての取組について具体的な内容の協議	第3回部会に先行して農福連携に関する関係者協議を再開し、各取組状況の共有や今後の展望について意見交換を行う。
第4回	1月中旬～ 2月上旬		

その他

--

令和元年度 精神保健福祉部会 中間活動報告書

令和元年度の主な取組内容

- ◆ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて協議を行う。(継続)
- ◆ 精神科病院に長期入院中の方の実態を把握し、課題や地域移行支援のあり方を検討する。(継続)
- ◆ 精神障害者の緊急時、災害時における対応について課題と対応を協議する。

活動の状況

	日にち	内容	備考
第1回	5月15日	① 平成30年度の精神保健福祉部会の活動報告 ② 協議事項～今年度の部会の取組について～ ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて。 ・精神障害者の方にとっての地域生活支援拠点について ・長期入院をしている市民の状況把握 ・「地域移行」に関する部会と各種研修会の連動 ・障害当事者や家族の気持ち、状況を直接伺う機会 ・緊急時や災害時の対応 ・長期入院の事例検討 ・都事業「精神科医療地域連携事業」の経過確認 ・ゆるやかな居場所について	・高齢分野の取組等も参考に、仕組図に国分寺バージョンを当てはめる ・医療機関への調査を検討 ・基幹相談支援センター主催ネットワーク研修、都地域移行体制整備事業の圏域別研修と部会の連動 ・避難行動要援護者リストの登録状況確認
第2回	8月21日	① 報告事項 ・「地域移行」をテーマとした基幹相談支援センター主催、ネットワーク研修(5/21)報告 ・「養護教諭連絡会」(8/1)参加報告 →保健所・市の精神保健相談・地域生活支援センターの対応等を情報発信した。 ② 協議事項 ・長期入院者の状況把握に関して、リムラッド情報をもとに国分寺市民が入院している病院に発信予定 →長期入院の実態調査票の作成と発信を	・北多摩西部圏域研修との連動を確認 ・内部資料として活用をはかる。

		<p>確認</p> <p>→基礎情報+退院を阻む要因，地域に必要な支援資源の求め等の情報を確保</p> <p>・地域包括ケアシステムについて（社会資源，居場所）</p> <p>→入院医療・クリニックの情報検索，整理</p> <p>→居住支援系情報(グループホーム・公営住宅)整理</p> <p>→体験の場としてのショートステイの今後の確保について</p> <p>③ 各署からの情報交流</p>	<p>・厚労省資料の要素別補足と新たな資料化のイメージ要</p> <p>・各種講習，イベント等情報の他，行政の対応体制，新事業等が配信された。</p>
--	--	--	---

成果・活動から見えてきたことなど(課題整理)

○参加各事業所，セクションのリアルな情報配信により，「顔の見える関係」の深化が徐々にはかられ，ネットワークの実際のイメージづくりが進捗している感がある。と同時に課題や限界も～例えば居住支援～明らかになってきており，部会内部での協議を深めることはもとより，「自立支援協議会」を挙げての取り組み課題と思しき内容とも思われる。

○予定されている事業の実施が危ぶまれるほど，人材確保難が顕著な状況がある。本課題も「自立支援協議会」全体として取り組むべき課題と思われる。

今後の活動予定

	日にち	内容	備考
第3回	12月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・家族より，直接意見を伺う ・緊急時，災害時の対応について ・地域移行の事例について ・東京都精神障害者地域移行体制整備支援事業について報告 	→事前の調整を要する。
第4回	1月中旬～2月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組についての検証等 ・都精神科医療地域連携事業について ・次年度に向けての課題・取組について協議 	

その他